

2012年が始まりましたね！今年最初の本は干支にちなんでみました。

『ドラゴン学総覧』

ドゥガルド・A・スティール／編集 S. A. S. D／編集 三枝明子／訳 今人舎

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★★☆ 小高学年★★★ 中学生★★☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

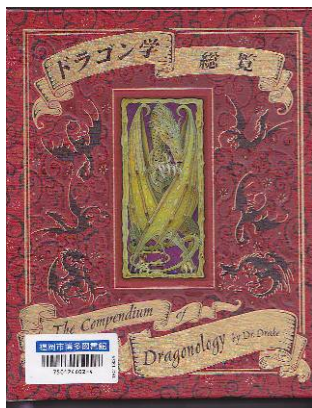
<本の紹介>

西洋のドラゴン、中国の龍(ロン)、韓国の龍(ヨン)、日本の龍(りゅう)などのドラゴンを研究するドラゴン学者たちが集まった「ドラゴン学者協会(S・A・S・D)」。その長はドラゴンにより選ばれ、「ドラゴン・マスター」と呼ばれます。この本はドラゴン・マスターであるアーネスト・ドレイク博士の研究の集大成です。古今東西のドラゴンの種類や生態、ドラゴンの世話の仕方から出会ったときに有効ななぞなぞや詩まで紹介されています。ドラゴンについて興味のある人はぜひ一度読んでみてください！

<子どもに手渡すときのポイント>

今年の干支であるドラゴン。もちろん架空の動物ですが、洋の東西を問わず人々を魅了し、想像力をかきたててくれます。この本に興味を持った子どもには、同出版社の『ドラゴン学』『ドラゴン学ノート』『ドラゴン学入門』もありますので勧めてみてはどうでしょうか？

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。



子

ども図書館 重村 さやか